

安全



安心

# JAL不当解雇撤回ニュース

No434号 2012.03.19  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.com>



## 「戦争する国」なんて許さない! JALの不当解雇も許さない!

### 2015年国際女性デー中央大会

3月8日、国際女性デー中央大会がニッショーホールにて行われました。集会とパレードには800名を超える女性たちが参加しました。世界で女性たちは1世紀もの間、パンと権利と平和を掲げ歴史を動かしてきました。今年は「戦争する国」なんて許さない! 輝かせよう日本国憲法! 核兵器・基地・原発 NO! 世界的女性と手をつなぎジェンダー平等へ! をスローガンに開催され、原告も多数参加しました。橋本のぶよさんのミニコンサート、経済学者・浜矩子(のりこ)さんの講演の後、連帯と交流の中で被災地福島と辺野古からのビデオメッセージを上映し、各職場や地域の訴えで共感を深め、大会決議、アピールを採択しました。当日は全国各地でも集会が開催され、大阪、兵庫、神奈川、愛媛での集会にも原告も参加し、不当解雇撤回闘争への支援を訴えました。



集会後、新橋駅まで「憲法守れ!」とパレード



連帯と交流の部で登壇し、支援を訴える原告のみなさん



合唱団フェニックスも「あの空へ帰ろう」をうたい、大会のオープニングを飾りました。



講演する浜矩子さん

#### 幸せになるための経済学 ~反アベノミクスのすすめ

経済活動とは本来人間を幸せにするものであり、決して不幸にするものではないはずだが、現実には効率が追及され、人間が置き去りにされている。アベノミクスとは、チームアベノミクスの「取り戻したがり病」である。何を取り戻したいのか! 日本の稼ぐ力、つよい日本を取り戻し、国民が国家のためにサービスを提供する関係を作ること。女性が輝くと言いつつ、法案には女性の人権や、性差別の解消、是正などは一言もない。女性を死ぬまで活用するものである。こうした施策への対抗として、私たちは人の話に耳を傾けることのできる耳、人の痛みを我が事のように涙する目、苦しみの底にいる人を救い出す手、これらを駆使し共感性を持って、アベノミクスを追い詰めるためにたたかって行きましょう。



## 各地での国際女性デー集会から～

3月6日の大阪集会は、600名もの女性がドーンセンターにつどい、「標的の村」の監督・三上知恵さんの講演に聞き入りました。「これからがんばる」の報告をすると万雷の拍手をいただき、胸が一杯になりました。とても元気の出る集会でした。マスコミはほとんど取り上げませんが、沖縄の米軍基地問題は一刻も早い解決が必要です。



3月8日の神奈川県集会は200名が参加し、集会前に桜木町みなとみらい口で宣伝行動を行いました。午後からの集会の記念講演は、昭和女子大名誉教授の伊藤セツさんによる「クララ・ツェトキンから学ぶジェンダー平等と反戦」。とても力になる内容でした。運動の交流の部で横断幕とともに登壇し、たたかう決意と支援のお願いをしました。



3月8日、第56回愛媛中央集会は130名が参加しました。講演は、70年前に起きた悲劇の「対馬丸」事件の生還者、平良啓子さん(80才、当時小4)の貴重な体験談でした。平良さんの生還までのリアルなお話は、再び戦争を起こさない為に「自分は語り続ける」と、80才とは思えない気迫を感じました。講演後のフロア発言として、2人でたたかひの報告と支援を訴え、物販にも皆さんがご協力下さいました。

3月8日の兵庫県集会は140名の参加者の中で行われました。大阪弁護士会134年の歴史の中で女性初の会長になられた石田法子弁護士による記念講演「安倍政権の女性政策とジェンダー問題」がタイムリーでした。「裁判の結果は出ましたがあきらめません」の訴えに、大きな拍手。大会終了後は、大にぎわいの三ノ宮から元町まで元気にパレードしました。



**私たちは決してあきらめずに、解決するまで闘い続けます!**  
**これからもご支援を どうぞ、よろしくお願ひします。**

